



九条の会. ひがしなだ ニュース

第44号

2013年9月

事務局 中村陽一 Tel&Fax 811-4562 E-mail youichi-nakamura@kcc.zaq.ne.jp

「歴史と言うのは、過去に起こった事実ではなく、過去に起こったことを解釈して、未来に役立てるために作られた物語である…」池澤夏樹。

今の教育は知らないが、我々が教えられた日本の歴史は、明治維新までだった。その後の歴史は、まわりの大人たちが教えてくれた。体験に基づく言葉の重さ。眼をそむけたなる写真。映像の数々。

今、その、決して忘れてはならない、過去を、未来に役立てるどころか、甦らせようとする動きがある。

「平和憲法」は、未来の物語。

次の世代に伝えていくのは、我々の責任。



(九条の会. ひがしなだ 呼びかけ人 小山乃里子)

10月5日の憲法学習講演会に参加しよう！

参院選後に衆参両院で自公両党が過半数を占めた状態の下で、安倍政権は、解釈改憲で集団的自衛権を認めるべく内閣法制局長官の首を挿げ替えたり、立法改憲を目指して「秘密保全法案」や「国家安全保障戦略」の策定を目論んでいます。また、民主党も集団的自衛権認めるという方向の改憲創案を練っているようです。

そこで、「今、日本国憲法に何が起ころうとしているのか？」をしっかりと学習するために、10月5日(土)18:00～、東灘区民センター第1会議室(8階)において、神戸大学名誉教授の憲法学者、和田進先生をお招きして、「解釈改憲・立法改憲の危機と安倍内閣のジレンマ」というテーマで講演して頂く、憲法学習講演会を開催することにしました。

万障繰り合わせの上、多数ご参加下さるようお願い申し上げます。

(中村陽一)

11月9日に史跡・戦跡ウォーキング！

添付のチラシに示すように、11月9日(土)に、史跡・戦跡めぐりの会主催で、御影と灘を中心とした史跡・戦跡ウォーキングを行います。13時半、阪神御影駅北側集合で、雨天でも決行します。コースは、岡倉愛穂が虐殺された御影警察跡、「火垂るの墓」記念碑、処女塚、徳井神社などを含みます。多数ご参加ください。

(合田和義)

神戸空襲の碑が建ちました

連日の猛暑、雲ひとつない青空です。2013年8月15日、戦後68年目にしてようやく神戸市の大倉山公園に「神戸空襲の碑」が建ちました。ながいながい道のりでした。



神戸市長など 10 名で除幕

るものなのです。

6 月、業者にわたす名簿の最終チェックを手伝いながら、私は胸がいっぱいになりました。読み上げられるお名前のひとりひとりがかつては誰かのお父さんであり、お母さんであり、町内会長さんであったりした暮しがそこにはあったのです。

みなさまからお寄せいただいた浄財によってこの碑は建立されました。ここに来て語らい、未来をになう子供たちに、郷土の歴史として空襲の事実を伝え、そして、ここから世界にむけて平和のメッセージを発信していけるようなそんな場として、みなさんで見守り、育てていって頂けたらと願っています。今日までのご支援ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(神戸空襲を記録する会 玉井洋子)

神戸市長をはじめ 800 人をこす参列者がありました。炎天下にもかかわらず 1 人の救護者もだすことなく、無事除幕式を終えることができました。

総重量 7 トン、白御影石 (2000×600×2400mm) の前面には「神戸空襲を忘れない いのちと平和碑」と明記され、その下に碑文がかかげられています。裏面にはこれまでの調査で判明した 1752 名のお名前が刻まれています。そこには、その何倍もの空白がありますが、これこそ 8 千人をこすといわれる神戸空襲犠牲者のいまだ判明しない方々の存在を証しす



刻銘された犠牲者名を探す遺族たち

先生との約束

浦上忠文 (鴨子ケ原)

今から 54 年前、昭和 34 年 3 月。小学校卒業式を前に、担任の三本杉美奈子先生 28 歳に呼ばれた。

「今は民主日本、民主日本って言うてるけど、歴史は必ずおかしくなる時が来るものなのよ。あのドイツだって、ワイマール憲法という立派な憲法があったけど、ヒットラーという人が出てきて、国はめちゃくちゃになってしまったのよ。もし、日本にそういう時が来たら、浦上くん、立ち上がるのよ。約束よ！」

「あなたには、腕力はないけど、クラスを笑わせながら盛り上げてくれた、不思議な力があるから。それと、さんざん私をいじめてきた償いもしないとね」と、私の肩を抱いて、にっこり微笑まれました。

日本で、まさかそんな時は来ないだろうと、のんきに構えていましたが、

最近、おかしい空気が生まれてきつつあるのを感じます。

「先生、約束は、必ず果たしますからね！」

「8・15平和のつどい」を開催 「語りつごう戦争」展の会が妙法華院で

「8・15平和のつどい」が8月15日午後1時半から、兵庫区の妙法華院で行われました。「語りつごう戦争」展の会の主催で、約60人が参加して、平和への誓いを新たにしました。

今回のつどいでは先ず、小森陽一・九条の会事務局長のDVD「あぶない憲法のはなし」を観て、自民党の改憲草案が、いか時代錯誤で、平和と民主主義、生活全般に悪影響をもたらす危険なものであるかを学びました。

続いて、渡辺武・元大阪城天守閣館長（日中友好協会大阪府連会長）が「東アジアの平和を考える」と題して講演しました。

渡辺氏は、閣僚による靖国神社参拝は、中国、韓国との関係をさらに悪化させるもの、と指摘したあと、橋下徹・日本維新の会共同代表（大阪市長）の「慰安婦」を巡る一連の妄言が、いかに大きな国際問題となっているかを、韓国や米国内での敏感な反応を引用しながら、明らかにしました。そして、「慰安婦問題」については国の責任を明確にし、二度と起こさないことを明確にさせる必要がある、と強調しました。

さらに、尖閣問題の対立で、日中関係が最悪の状況にあり、その背景には日米軍事同盟強化や宮古島への自衛隊配備の問題などがあると分析しました。最近の日中共同世論調査によると、相手国に対し、「よくない印象をもつ」という国民感情が、両国ともに90%を超えていること、しかし日中関係がこのままではいけない、「何とかしなければ」と考える人が両国とも70%を超えていることも紹介しました。その上で、関係正常化には、草の根からの交流・相互理解を促進するとともに、外交ルートで粘り強く、平和的で誠実な交渉を続ける以外にないと強調し、アピール「平和的な話し合いを通じて尖閣問題の解決を」への賛同運動の推進を訴えました。

最後に渡辺氏は、如何なる状況にあっても憲法を守る、平和を守るという、国民の粘り強い運動の継続が重要ではないか、と語りかけました。

（田所明治）



憲法運動強化、憲法共同センター拡大代表者会議が開催さる

8月17日、13時半から、勤労会館308号室で憲法共同センター拡大代表者会議が開かれました。

第1部は、石川康宏先生（神戸女学院大学教授）の、「参院選後の政治と日本社会の根本」と題する講演でした。まず、参院選の結果について、09年に3000万票近い得票で政権についた民主党が700万票余りの得票という壊滅的な打撃を受けて2大政党制が崩壊したこと、自公両党も政権を降りた09年の得票を上回ることができず、民主から自公への支持の逆流が起こったのではないこと、第3



極と言われた維新の会やみんなの党もピーク時の50~60%の票しか得ておらず、化けの皮がはがれてきていること、反自民の受け皿として共産党が国民の視野に復帰したこと、などを指摘されました。そして、主権在民や、基本的人権、平和主義など人類の文化遺産を引き継いだ日本国憲法の条文を実現するに際して立ちはだかる日本の根本問題は、①戦後数年間のアメリカによる直接占領から、その後の安保条約による対米従属など、アメリカ言いなりの従属状態、②戦前・戦後の権力の連続性、③大資本・財界言いなりの政治、であることを多くの資料に基づいて説明され、これから暴走する安倍政権と国民の間でのガチンコ勝負が始まること、安倍政権の右翼的な復古主義は支配層の中での大きな矛盾であること、などを指摘されました。

第2部は、憲法共同センター事務局長の和田邦夫さんから、当面の取組課題として、①憲法地域共同センターの活動強化、②憲法署名を大きく展開しよう、③9月9日を中心とする一斉宣伝活動の強化、④11月3日の憲法記念日を中心とした活動の強化、の訴えがあった後、参加した各種護憲団体や9条の会から、経験交流の形で活動報告が行われました。九条の会、ひがしなだからも、ここ数年の活動状況の報告をさせて頂きました。(中村陽一)

9条の会訪問記(その20) 憲法9条を守る玉津の会 4月に新たなスタート 肩の凝らない集いを息長く

神戸市西区の「憲法9条を守る玉津の会」は、今年4月21日、新たなスタートを切りました。休眠、開店休業状態に陥っていた従来の会を再建した、というよりか、事実上の新発足です。整骨院の院長、保育所の所長、主婦ら10人を呼びかけ人として、年初から4回の準備会を重ね、4月21日に吉田郷土館で総会を開いて、発足させたのです。

総会では10人の世話人を選出し、中地慶典会長、畔布久隆事務局長をはじめ、新役員を配置したのですが、どうやら「名誉職」的な存在はいないようで、みんなが動く会とお見受けします。

月1回の世話人会、2か月に1回のイベントなど、定期開催も決め、財政も含めて持続性を重視した安定的な運営も申し合わせています。

総会后、初の学習会は、6月9日(日)、吉田維一弁護士を講師として開催し、96条改憲について学びました。

第2回目は、8月25日(日)に「平和の集い」。80歳代の夫婦による戦争体験談、劇団四紀会の俳優による平和の詩(峠三吉の「にんげんを返せ」など3篇)の朗読、や「原爆許すまじ」「青い空」など平和の唄合唱、そして極めつけは「すいとん」の試食……。文字通り「肩の凝らない集い」に徹して、交流を深めました。

交流会では、参加者全員が戦争への思いを語り合い、二度と戦争は許さない誓いを胸に、「手記を文集にまとめよう」ということになり、その具体化を急いでいるところです。

会員は今、約60人ですが、当面は早期に100人を目標としています。会報は月1回の発行で、世話人が分担して手配りが原則です。



「平和の集い」は和気あいあいと

次回の学習会は10月6日(日)午後1時半から。医師協会館「かがやき」で、「非核神戸方式」について学びます。講師は、兵庫県原水協事務局長の梶本修史さんです。(田所明治)

これからの催し物

★☆☆☆ 9月21日(土) 13:30~

芦屋市生涯学習出前講座

主催:原発をなくそう芦屋連絡会

会場:芦屋市民活動センター別館218号室 (琴平町8-24、電話:0797-31-4995)

テーマ:福井県原発(大飯、高浜)が事故を起こせば、芦屋の放射能汚染は?、避難先は?

講師:柿原浩幸さん(芦屋市防災安全課長)

入場無料

連絡先:池上(070-5669-5875)

★☆☆☆ 10月7日(月) 18:30~

緊急学習会

主催:兵庫県弁護士9条の会

会場:神戸市勤労会館308号室 (JR三宮駅・東へ3分、電話078-232-1881)

テーマ:秘密保全法案、国家安全保障会議設置法案、集団的自衛権問題の3点セット

講師:井上正信さん(尾道在住の弁護士)

入場無料

★☆☆☆ 10月25日(金) 19:00~

神戸 平和マップ講演会

主催:神戸学生青年センター 後援:神戸 平和マップをつくる会

会場:神戸学生青年センターホール (阪急六甲駅北側)

テーマ:「神戸平和マップ」がつくる「平和」(仮題)

講師:小城智子さん(元神戸市立小学校教師)

参加費:600円

★☆☆☆ 10月26日(土)・27日(日) (①10:30~、②14:30~、③17:00~)

「渡されたバトン さよなら原発」宝塚上映会

主催:宝塚上映実行委員会 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会

会場:宝塚市立西公民館ホール (阪急 小林駅下車北東徒歩3分)

映画:「渡されたバトン さよなら原発」

入場料:前売り一般1,200円(当日券1,500円)、前売りシニア1,000円(当日券1,200円)

お問い合わせ:宝塚上映実行委員会事務局(0798-57-3137)

